

ニュースから考える

嬉しいニュースです！



日本中が熱狂する中、大坂なおみ選手が1月26日、全米に続き全豪オープンでも優勝、連続して4大会を制し歴史に足跡を残しました。

愛くるしい笑顔とともに注目されるのは個性的なスピーチです。初優勝だった3月18日のBNPパリバ・オープンでは観客、スタッフ、スポンサーに感謝したものの大事なラケットの提供会社を忘れそうになりヒヤヒヤするまわりをよそに「これ多分、史上最悪のスピーチですよ～！笑」と爆笑の渦に巻き込みました。

一転して、全米オープンの優勝の際には「ごめんなさい。皆がセリーナを応援していたのを知っているから、こんな終わり方になってごめんなさい。ただ伝えたいのは試合を見てくれてありがとう。ありがとう～！」との涙のスピーチで感動の聲が上がりました。

さて、今回の優勝スピーチでは「私チームの皆がいなかったら、ここまで来られたか分からない。私をサポートしてくれて、いつも感謝しています。みなさん、ありがとう。決勝で試合ができて、とても光栄です」とチームナオミへの感謝が印象的でした。

ちなみに、大阪生まれの大坂選手の鉄板ネタは「大阪生まれの人はみんなオオサカって名字なの～！」で回りを明るくする天性の才能もお持ちです。誰からも愛される魅力と実力をもった21歳、大坂なおみ選手の益々の活躍が楽しみです！

1分でわかる業務カイゼン

納得が大事な成長の鍵！



大坂選手の大躍進を支えているのが6名の「チームナオミ」です。最も影響を与えているのが憧れのセリーナ選手のパートナーを8年務めたバヒンコーチで、就任早々、彼女の「物事をネガティブにとらえやすい」性格に着目、自らの経験を活かし「セリーナだって、常にポジティブだった訳ではない。落ち込んでいた時もあった。そんな時に彼女はノートに自分を鼓舞する言葉を書き、それを見返していたんだ…」と新たな教え子を励まし発想を変えさせたのです。つまり精神面のサポートがご存知3歳(ナオミ選手の自己評価)からの成長の秘密です。

また他のコーチ陣も身長が180cmもある彼女の素材を生かすべく、食べ盛りの彼女に7キロもの減量と筋力強化を成功させ世界で戦う基礎を積み上げ肉体(技術)面をサポートしました。自ら掲げる目標達成のために必要な改善提案を彼女が受け入れたことが大躍進の秘密なのです。

ブラック(悪質)体質

一方、SNSや動画がユーチューブなどで誰でも簡単に情報を発信しやすくなった事もあり、スポーツ界のパワハラ問題となっています。強くなるためには指導者が選手に体罰を与えても良いとのブラック体質が表面化しています。

この現象はスポーツ界に限りません企業や官庁であってもSNS等にパワハラの映像がTVで放送される事があります。いままでならひたすら耐えていた社員の情報発信により経営者・行政の長等を最終的に辞職まで追いつめる事が出来るのです。そう考えると、パワハラを受ける側、する側の両者にとってブラック体質は不幸を招きます。

厚生労働省が発表しているブラック企業の性格を整理すると3つの定義にまとめられます。

長時間労働・ハラスメントが常態化している
残業代や手当の未払いなどの違法労働が行われている

採用・離職が繰り返され社員が「使い捨て」状態に

なっている

先日、ある知人がその職場を評し「経営者は仕事が出来ない人を怒鳴り散らし」、「低賃金で働かせ」、「人がすぐ辞め育たない」、しかも「経営者自身は仕事もほどほどにゴルフ三昧で自分の高給を下げない」と言っていました。これは、たぶん経営者本人は気づいていないでしょうが、ブラック企業の3つの定義に合致しています。



「低賃金で働かせ」、「人がすぐ辞め育たない」、しかも「経営者自身は仕事もほどほどにゴルフ三昧で自分の高給を下げない」と言っていました。これは、たぶん経営者本人は気づいていないでしょうが、ブラック企業の3つの定義に合致しています。

パワハラにより仕事を覚える前に社員が退職、業務品質が低いので顧客の満足度が低下、当然、採算性が悪く給料を最低限にしか払えない。

顧客満足度、社員満足度の低迷からくる完全な悪循環です。当然、ブラック企業でなくても仕事上社員に問題があった場合には叱責や注意は必要です。ただし、大坂選手に対するチームナオミのように、感

情的ではなく論理的、理性的なアドバイスが必要なのです。大切な人材を使い捨てるのではなく、育てる方が企業にとってプラスになります。

ブラックは経営者だけではない・・・

問題を複雑にするのはブラック(悪質)なのは経営者サイドだけではないとの事実です。SNSを使ったバイトテロや抹殺投稿に加え計画的な残業訴訟というものがあります。社員サイドの一方的な風評被害で存続の危機になる会社や畏にはまった上司の退職、高額な示談金の要求等、経営者サイドが追いつめられる事もあります。

大変失礼ですが、共産国家のみならず民主主義国家の指導者ですらフェイクニュースを流す時代です。目にするもの耳にするものが信用できない混とんとした時代となってしまいました。

こういった時代だからこそ社員やお客様にとって本当に真実で信頼できる経営者だと思ってもらえる必要があるのではないのでしょうか・・・

事務所からのお知らせ

会社の健康診断として経営分析を行っていますので担当者にお尋ね下さい。また、お知り合いの経営者でお悩みの方がおられましたらお気軽にご相談ください。

今月の経営のヒント : 「ボイスレコーダー」には気を付けましょう・・・



今月のことば

自分の弱点をさらけ出さずに「人から利益を受けられない」。自分の弱点をさらけ出さずに「人に利益を与えられない」。(夏目漱石)

編集後記:

私(佐藤)事です。冬限定の趣味は「除・排雪」です。必要のない裏庭まで除雪するので、なぜ無駄にエネルギーを使うのと妻に言われます。じ~としていられないのは歳をとった証拠でしょうか・・・。(寿)

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合(TKCが証明するデータを使用しています)

最近1年間: 61.9%

(国税局の発表によると法人の黒字割合は33.2%(28年4月~29年3月)です)